

名称 本演習の通称:RD22(レゾリュート・ドラゴン22) ※ Resolute Dragon:不屈の龍

目的 陸上自衛隊及び米海兵隊の部隊が、それぞれの指揮系統に従い、共同して作戦を実施する際の連携要領を実行動により訓練し、共同作戦能力の向上を図る。

日時 令和4年10月1日(土)～14日(金)

場所

矢臼別演習場、上富良野演習場、然別演習場、静内対空射撃場及び静内駐屯地、計根別場外離着陸場
※航空基盤:札幌飛行場、十勝飛行場

- 参加部隊**
- 自衛隊:第2師団第3即応機動連隊基幹(名寄駐屯地)、北部方面航空隊(丘珠駐屯地)、第1特科団(SSM連隊、MLRS大隊)(上富良野駐屯地)、第3施設団(南恵庭駐屯地)、第1電子隊(東千歳駐屯地)等
 - 米軍:第3海兵師団第12海兵連隊基幹(沖縄県キャンプ・ハンセン等所在)、第3海兵師団第3/3海兵大隊(キャンプ・シュワブ所属)、第1海兵航空団第36海兵航空群(普天間基地等所在)、米海軍艦艇DDG等

- 特色**
- 陸自の領域横断作戦(CDO)と米海兵隊の機動展開前進基地作戦(EABO)との連携要領を具体化するための訓練を実施
 - 国内において米海兵隊と実施する最大規模の実動訓練であり、北部方面隊と在沖米海兵隊が複数の演習場を使用し、日米共同による指揮機関訓練と連携した戦術行動、各種射撃訓練、対艦戦闘訓練等を実施
 - 平成28年9月の日米合同委員会合意に基づく、MV-22等の訓練移転に係る事業として実施

- 演習の概要**
- 日米の部隊が共同し国土を防衛するための指揮機関訓練及び実動訓練を実施
 - 指揮機関訓練において、日米がそれぞれの指揮系統に従い、共同して計画及び命令を作成
 - 実動訓練において、日米AH、陸自MLRS部隊と米海兵隊HIMARSによる共同射撃訓練、陸自SSMと米海兵隊HIMARS、米海軍DDG等による共同対艦戦闘訓練、米海兵隊HIMARSを搭載LC-130輸送機による離着陸等を実施

訓練のイメージ



【日米共同作戦会議】



【防衛における日米調整】



【AHによる射撃訓練】



【日米共同の患者後送】